

## 世界のロボットスタートアップに関する調査結果を発表

- ロボットスタートアップ数トップはアメリカで279件（2016年1月末時点）
- アメリカのロボットスタートアップの43%がカリフォルニア州にある
- アメリカのロボットスタートアップのジャンルトップは「ドローン」で構成比の25%に及ぶ

アスラテック株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒谷 正人）は、世界のロボットスタートアップに関する調査結果を発表した。この調査は、世界のロボット関連のスタートアップ企業についてとりまとめている「THE ROBOT REPORT」の2016年1月時点の情報をもとに、独自の視点で再編集したものになる。（<https://www.therobotreport.com/directory/start-up-companies>）

### ●ロボットスタートアップが最も多いアメリカ

THE ROBOT REPORT で取り上げられているロボットスタートアップの件数を国別で見ると、表1のようになる（上位10カ国）。アメリカが279件で最も多く、続いてフランス(46件)、中国(30件)となり、日本は16件で9番目だった。

表1 ■世界のロボットスタートアップ数（2016年1月末時点）

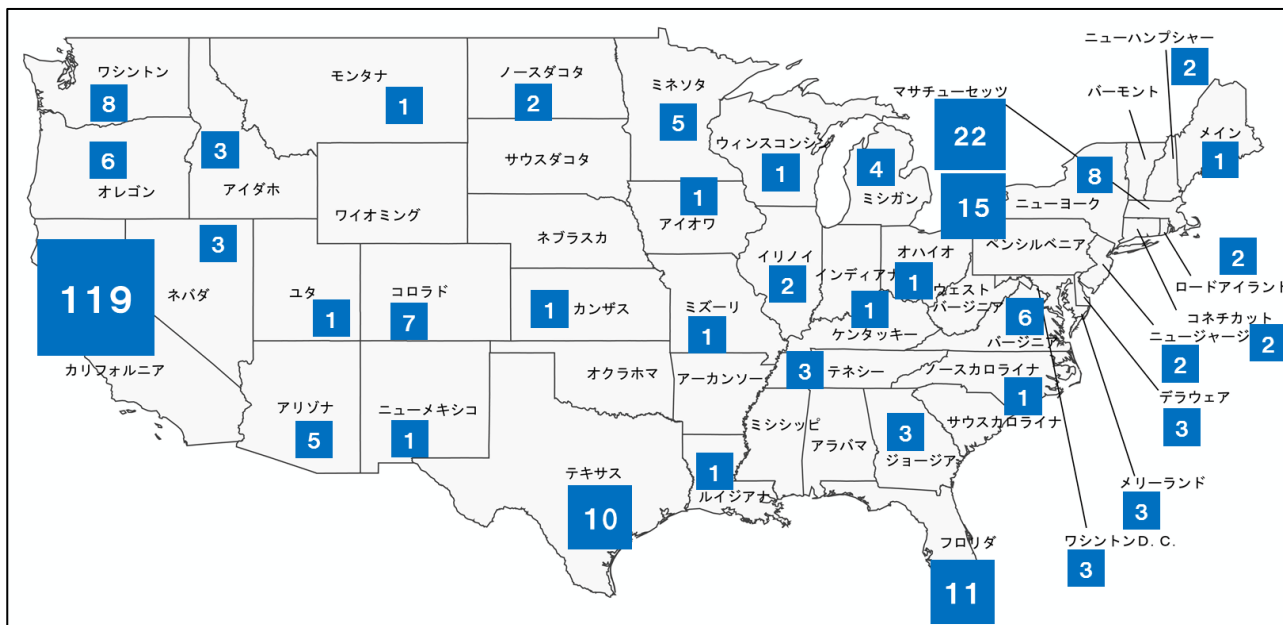
順位	国	件数
1	アメリカ	279
2	フランス	46
3	中国	30
4	カナダ	24
5	ロシア	23
6	ドイツ	21
7	イギリス	20
8	スイス	18
9	日本	16
10	イスラエル	15

### ●アメリカのロボットスタートアップは「カリフォルニア州」に集中

2016年1月末時点でのアメリカのロボットスタートアップを州別に分けたものが、図1になる。

結果は、1位がカリフォルニア州(119件)、2位がマサチューセッツ州(22件)、3位がペンシルバニア州(15件)となった。

図1 ■ アメリカのロボットスタートアップ 州別分布 (2016年1月末時点)



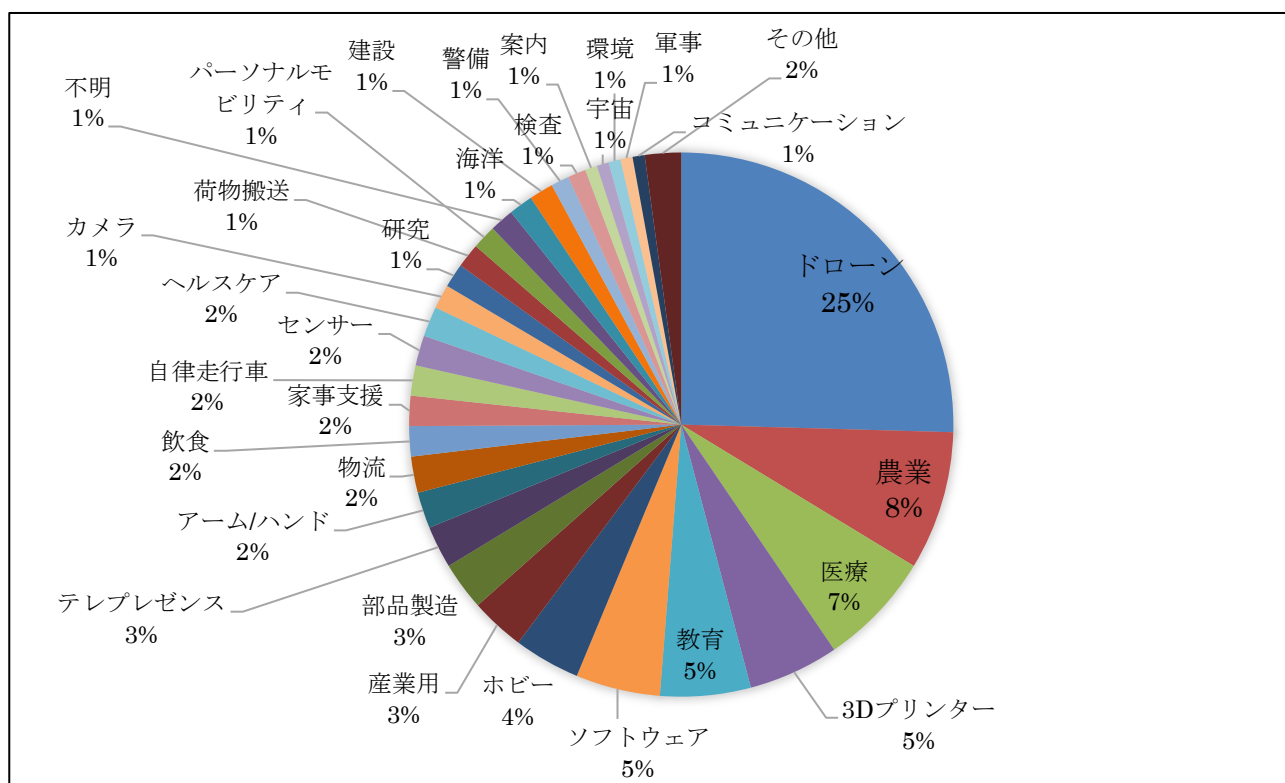
●アメリカのロボットスタートアップのジャンル上位は「ドローン」「農業」

アメリカのロボットスタートアップをジャンルで区分すると、表2・図2のようになる。なおジャンル分けは、引用元である「THE ROBOT REPORT」の記載をベースに、スタートアップのウェブサイト可能な限り確認したうえで行った。結果、1位が「ドローン」で71件、2位が「農業」の23件と続く結果となった。なお、「農業」の中には「ドローン」を扱う企業も一部含まれていたが、事業内容が農業特化の場合は「ドローン」を扱っていても「農業」に区分されている。

表2 ■ ジャンル別のアメリカのロボットスタートアップ数トップ10 (2016年1月末時点)

順位	ジャンル名	件数
1	ドローン	71
2	農業	23
3	医療	19
4	3D プリンター	15
5	教育	15
6	ソフトウェア	14
7	ホビー	11
8	産業用	9
9	部品製造	8
10	テレプレゼンス	7

図2 ■アメリカのロボットスタートアップ ジャンル構成比 (2016年1月末時点)



### ■アスラテック株式会社について

2013年7月に設立されたロボット専門の企業。ロボット制御システム「V-Sido OS」(ブシドー・オーエス)の開発・販売を中心にロボット事業を展開するほか、ロボットビジネスのコンサルティングも手がけている。

- ・ 本レポートに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本レポートに掲載されている内容、サービス/製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、本レポートにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

アスラテック株式会社

E-mail: info01@asratec.co.jp